

第3回 再生医療とリハビリテーション研究会 - ロボットテクノロジーを活用した産学医工連携 -

医工連携に関心のある研究者、ものづくり企業の皆様の積極的なご参加をお待ちしております！

日時：2016年12月10日（土）10時～17時30分（引き続き、懇親会）

会場：東京工業大学 大岡山キャンパス デジタル多目的ホール・コラボレーションルーム

プログラム：<http://saiseireha.com>

10:00 開会 第3回研究会 実行委員長 武田行生（東京工業大学）

10:05 セッション1：ロボット工学への期待（座長：武田行生）

リハ専門家から見たリハロボットのベンチマーク

-ロボットのできること、人のできること-
介護予防にロボットが役立つために何が必要か

大畑光司（京都大学）

（お出かけ型介護予防研究からの示唆）

西條美紀（東京工業大学）

脳神経外科医がリハビリロボットへ期待すること

氏家 弘（東京労災病院）

11:35 セッション2：ロボット工学の専門の立場から見た現状と課題（座長：田中英一郎）

リハビリテーションおよび日常動作支援ロボット

木口量夫（九州大学）

12:05～13:00 昼休み

13:00 セッション3：大学発実用化例・海外動向の紹介（座長：田中英一郎）

マッスルスーツの展開

小林 宏（株式会社イノフィス）

大学発ベンチャーからNASAへ～重力制御装置Graviteと歩行補助装置RE-Gaitの実用化～

河原裕美（株式会社 スペース・

バイオ・ラボラトリーズ）

鈴木康一（株式会社s-muscle）

細径人工筋が挑む、軽く柔らかな身体サポータ

マルチモーダル福祉ロボットシステムの導入に向けて

～車輪移動型の支援ロボットシステムの開発～

Jorge Solis Alfaro (Karlstad Univ.)

14:00 特別講演（座長：栗栖薫）

脳梗塞と脊髄損傷の再生医療－医師主導治験による実用化－

本望 修（札幌医科大学）

15:00～15:15 休憩

15:15 セッション4：ロボット工学の技術シーズ紹介（座長：弓削類，紀ノ岡正博）

【第1部：口頭発表(15:15～16:45)】

身体の気づきを高める知覚支援RTと臨床効果

岩田浩康（早稲田大学）

低圧駆動人工筋を利用した運動アシスト

栗田雄一（広島大学）

上腿・下腿分離形片側装着歩行支援装置の開発

松浦大輔（東京工業大学）

血栓予防を視野に入れたモーション・ソックス

塚越秀行（東京工業大学）

力覚可視化技術を実装したリハビリ支援システム

辻 俊明（埼玉大学）

倒れぬ杖の先

武居直行（首都大学東京）

パッシプロボティクスに基づく福祉ロボット

平田泰久（東北大学）

インクルーシブデザインによるライフサポート機器の開発

田中英一郎（早稲田大学）

多種促通刺激付き前腕回内・回外訓練装置の片麻痺陳旧例に対する長期訓練効果

余永（鹿児島大学）

【第2部：ポスター&実演(16:50～17:30)】

別室（コラボレーションルーム）にて、インタラクティブセッションを行う。

17:30 閉会 第3回研究会 実行副委員長 田中英一郎（早稲田大学）

17:45 懇親会（大学生協第一食堂）



講演会参加費：会 員4,000円

非会員7,000円

学 生2,000円

懇親会参加費： 4,000円

実行委員長 武田行生（東京工業大学）

実行副委員長 田中英一郎（早稲田大学）

連絡先：saiseireha3@gmail.com